

# ハイパー LED ウィンカーバルブキット 取扱説明書

製品番号 05-08-0434

適応車種及びフレーム番号 Z125 PRO (BR125H-A02621 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎配線コネクタに水分が入り込んだ場合、ショートする恐れがあります。雨天中の走行や洗車時は、配線部に水が掛からないように注意して下さい。
- ◎当製品をお手入れする際には、ガソリンやシンナー等を使用しないで下さい。ラバーや樹脂部品の劣化の恐れがあります。
- ◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。  
取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要となる工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業を行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
- ◎当製品は電源極性の指定があります。極性を逆に接続すると発光しません。
- ◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

## ～特 徴～

- Z125 PROの純正ウィンカーに、LEDウィンカーバルブを装着する事の出来るキットです。
- ウィンカー電球をLEDバルブ化する事により、レンズ越しに電球のオレンジ色が見えなくなりますので、レンズ色がクリアになり、より洗練された外観を得る事が出来ます。  
また、点滅時も反応が良い発光となり、より現代的な車両の雰囲気を得る事が出来ます。
- 取り付けに必要となるサブコード等の部品類を全て付属しておりますので、無加工で取り付け可能です。
- Z125 PROは、純正メーターにウィンカーリレー機能が内蔵されている為、LEDウィンカー化が出来ませんでしたが、弊社独自のレジスター方式を採用する事で、LEDウィンカー化を可能としました。  
今回新たに採用した弊社独自のレジスター方式は、従来より他社製品等で見られる外付け抵抗器を用いる方法と異なり、長時間点滅させ続けたとしても高温になる部位が発生しません。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

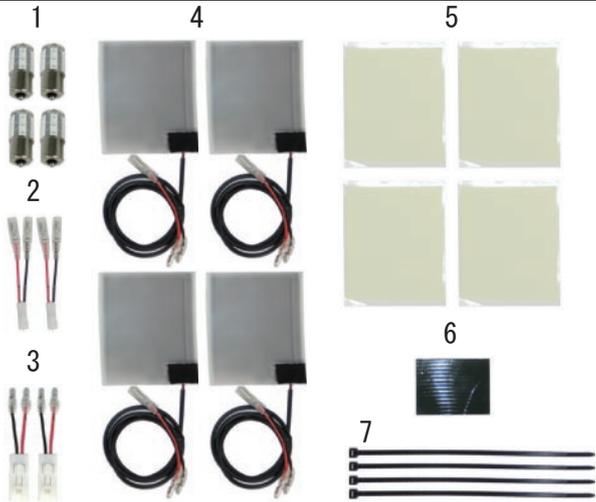
**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>  
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ハイパー LED ウィンカーバルブ	4	05-08-0309
2	ウィンカーサブコード	2	09-03-0010 (2ヶ入り)
3	ウィンカーサブコード2	2	00-05-0170 (2ヶ入り)
4	レジスター	4	35400-BR1-T00 (2ヶ入り)
5	両面テープ 80x95 (両面剥離紙付き)	4	00-00-0688 (4ヶ入り)
6	スポンジ両面テープ 45x60	1	_____
7	結束バンド 200mm	4	00-00-0269 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文  
下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●はじめに

▲注意：本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。  
外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い作業  
を行って下さい。  
また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

●外装の取り外し

1. 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
2. シートを取り外し、純正サービスマニュアルを参照の上で、L/R. サイドフレームカバーを外します。  
スクリュとタンデムステップ近くにあるボルトを外します。  
ツメ及び、グロメットに突起部がはめ込まれて固定されているので、写真を参考にカバーを外します。

▲注意：突起部及びツメが折れないように注意して下さい。



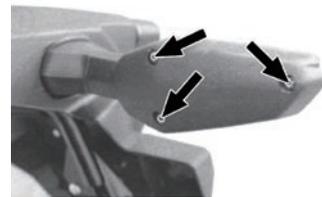
3. クイックリベットとスクリュ及びワッシャを取り外し、ミドルカウリングを外します。



●ターンシグナルライト球の交換

・前後左右4箇所共、同一作業となります。

1. ウィンカー裏面のスクリュ3本を取り外します。



2. レンズ部分のみを取り外します。



3. 電球を押し込みながら反時計方向に回し、取り外します。



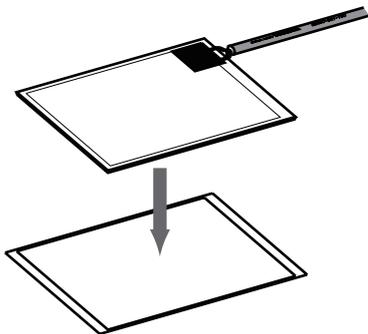
4. キット付属のハイパー LED ウィンカーバルブのピンをソケットの溝に合わせて押し込みながら、時計方向に回して取り付けます。

5. レンズ及びスクリュを元通り取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ターンシグナルライトレンズスクリュ  
トルク：1.0N・m (0.10kgf・m)

### ●レジスターの取り付け

1. 両面テープ 80x95 (両面剥離紙付き) の剥離紙を片側だけ剥がし、レジスターを貼り付けます。  
レジスターの片面には配線及び絶縁テープ部がありますので、配線がついていない面を両面テープに貼り付けて下さい。



2. レジスターを貼り付けた両面テープの反対側の剥離紙を剥がし、車両のフューエルタンクに貼り付けます。  
フューエルタンクの左右に2枚ずつ貼り付けますが、ミドルカウリングのダンパが当たる部分 (写真内 ★印部分) に、レジスターがかからないようにして下さい。

▲ 注意: レジスターを貼り付けた上にミドルカウリングのダンパが当たっていると、レジスターの断線やショートの原因となります。



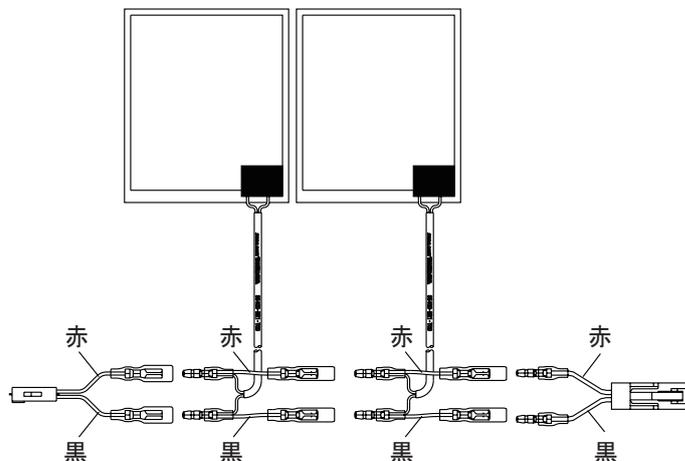
3. キット付属のスポンジ両面テープ 45x60 をハサミ等で幅 5mm 程度の短冊状に切断して片面のみ剥離紙を剥がし、適宜フューエルタンクにレジスターの配線を固定します。



4. レジスターを左右2枚ずつ貼り付けたら、シート下部のウインカーコネクタ部までコードを4本とも這わせませす。  
この時、外装やシートを装着しても挟み込んだりしない様に、コードを取り回して、適宜キット付属の結束バンドで固定します。

5. 下図を参照し、ウインカーサブコード → レジスター → レジスター → ウインカーサブコード2 となる様に、同じコード色のギボシ端子を接続します。  
左右ともウインカーサブコードとウインカーサブコード2の間に、レジスターを2枚接続して下さい。

▲ 注意: レジスターを必ず左右それぞれ2枚ずつ接続しなければ、ウインカーが正常に点滅動作しません。



6. ウインカーサブコードのコネクタを、車両側ウインカーコネクタに接続します。  
右ウインカーのウインカーサブコードコネクタを、車両側ワイヤハーネス灰色コネクタへ、  
左ウインカーのウインカーサブコードコネクタを、車両側ワイヤハーネス黒色コネクタへ、それぞれ割り込ませるように接続します。

▲ 注意: 必ず灰色は灰色、黒色は黒色同士を接続して下さい。  
逆に接続するとリアウインカーが左右逆に点滅してしまいます。

7. キー ON の状態にし、エンジンをかけずに左右のウインカーが正常に作動するかを確認します。  
正常に作動しない場合は、コードの接続不良等が考えられますので再度確認して下さい。

▲ 注意: エンジンをかけずに長時間点滅させると、バッテリーがあがる恐れがありますのでご注意ください。

8. 点滅動作に問題がなければ、取り外した外装類を元通り組み付けます。